

FREE ^{JMUW} vol.42
Mar. 2020

SPECIAL FRONT INTERVIEW

山本彰吾

THE RAMPAGE from EXILE TRIBE

SPECIAL EVENT REPORT

映画『貴族降臨 -PRINCE OF LEGEND-』

54+

JAPAN MOVE UP WEST

山本 彰吾

THE RAMPAGE from EXILE TRIBE

SPECIAL FRONT INTERVIEW

「LDH PERFECT YEAR 2020」がスタート。

LDHに所属するアーティストや役者、

モデルらが、それぞれのエンターテインメントを全国各地に届けている。

THE RAMPAGE from EXILE TRIBE(以下:THE RAMPAGE)の

山本彰吾もそのひとり。「LDH PERFECT YEAR 2020」、

THE RAMPAGEなど自身の活動についてや、地元岡山についての想いも

JAPAN MOVE UP WEST独占インタビュー。





LDHのなかにはお祭りムードはあるんでしょうか。
…実際のところ、楽しいだけではいられないですよね。

そんなことはないですよ、ありますよ、お祭りムード(笑)

about LDH PERFECT YEAR 2020

――2020年が始まって2カ月。今年は「LDH PERFECT YEAR 2020」のもと、活動されていますが、いい時間が過ごせていますか？

すごい感じます。昨年までは、THE RAMPAGEとして、THE RAMPAGEのためにしている活動がほとんどでしたが、今年はTHE RAMPAGEとしてLDHを盛り上げていくというマインドに良い形で切り替わっています。そのなかで、LDHという会社がどういう仕組みになっているのかを勉強させていただく機会も増えています。これまでは、THE RAMPAGEとして活動する環境をいただいて、そのなかで全力でやるだけでしたが、そこから少し成長したのかな。自分たちがどういう場所に立っているか、そのために周りの方たちがどのように動いてくれているのか、ちゃんと理解していくことって大切だと改めて感じています。

――6年に1度のPERFECT YEAR。今年は3回目にあたりますが、前回「EXILE TRIBE PERFECT YEAR 2014」の時は山本さんは……？

THE RAMPAGEの結成年で、サポートダンサーとして参加していました。

――その前の2008年の時は？

その時はお客さんとしてライブに行っていました。こう振り返ると、PERFECT YEARごとに段階を踏んでいますね(笑)。

――今年の「LDH PERFECT YEAR 2020」はやはりこれまでとは別物ですか？

2014年の時はあまり実感できていなかったのですが、僕にとっては今年が初めてのPERFECT YEARで、こういうものなんだっていうのは実感しています。それに、2020年はオリンピック・パラリンピックも重なって、日本が注目されていますし、そのなかでLDHがお祭りをやっている。来年はEXILEさんが20周年を迎えることもありますし……いろんな運命の巡りあわせになっていると思っています。

――PERFECT YEARは、LDHが6年ごとに展開するエンターテインメントの祭典で、「お祭り」なんですけど、アーティストのみなさん、LDHのなかにはお祭りムードはあるんでしょうか。……実際のところ、楽しいだけではいられないですよね。

そんなことはないですよ、ありますよ、お祭りムード(笑) Jr.EXILE世代の、グループLINEがあるんですけど、毎日、今日は誰がどこでライブをしています。誰の誕生日ですとか、それぞれBOOK ACTやりますよ、とか。そこでのやりとりを、自分たちでも共有してそれぞれSNSで拡散したりして、自分のライブじゃなくても盛り上がっていますね。

今回のツアーはどうですか？

**今回のツアーは、来てくれた方と一緒に
ライブの演出を作るツアーになってるんですよ。**





about “RMPG” & “MA55IVE THE RAMPAGE”

――THE RAMPAGEも先日、ツアーが始まりました。始まったばかりですが、今回のツアーはいかがですか？

静岡からスタートしたのですが、最初に感じたのは、ライブ会場に足を運んでくださる方々の年齢層が広がったこと。プリンス (PRINCE OF LEGEND) チームの活躍もあるでしょうし、昨年1年を通じてTHE RAMPAGEが色々な活動に携わらせていただいたこともあると思います。そこにPERFECT YEARが重なってTHE RAMPAGEのライブに行ってみようっていうのはあるのかなと。そのなかで、自分たちを選んでくれたファンの方々が、本当に幅広い層になっていて、びっくりしました。

――どんなツアーになっているのでしょうか？

昨年、1回目のアリーナツアー“THROW YA FIST”をやって、ライブの作り方を勉強してもらいました。だから今回は、もっとスパイスを入れて、行くところは行く、チャレンジ的なこともしています。昨年は王道のTHE RAMPAGEを見せられたんですけど、今回はよりコアな部分や、メンバーがやってみたかったことにチャレンジしているのを見せられていると思います。

――MA55IVE THE RAMPAGEはいつから準備をしていたんですか？

MA55IVE THE RAMPAGE (マッシュ・ザ・ランペイジ) はTHE RAMPAGEのラップチームで、もともとヒップホップやラップが好きでメンバーがいて、それぞれやりたいなって思っていたと思うんですが、形が見えたのは……これは僕のイメージですけど、最初のホールツアーの時じゃないかな。あの時にみんながラップをやり出して、僕はファイナルで入れてもらって。それで昨年の“THROW YA FIST”から神谷健太が入りました。そう考えると、2-3年前から下準備はしていたってことになるのかな。意外と長いですね (笑) THE RAMPAGEのより深い部分を知ってもらえるので、グループのなかに新しいグループができたのは大きいです。

――THE RAMPAGE以前に、ステージに立ちお客さんの前で歌う、声を出すという経験はあったんですか？

それは……小学校4年生の時ですね。ボイストレーニングに通っていたことがあって、EXILEさんの「EVOLUTION」を姉と2人で歌った思い出があります。それぐらいですね。こじんまりとしたディナーショーみたいな感じでした。

――それが今は……何人いるんでしょうね (笑)。

夢がありますね。

――パフォーマーとしてステージに立って歓声を浴びているときは違うものですか？

全然違いますね。気持ちがいいです。パフォーマーのときは、踊って高く手をあげて煽って、ですけど、MA55IVEは声を出して盛り上がりてもらえるので (笑)。

――自然に盛り上がりちゃう！と。

今回のツアーは、来てくれた方と一緒にライブの演出を作るツアーになってるんですよ。「フラッグライト」というフラッグの下にライトがついたグッズがあるんですが、これが曲に合わせて点灯したり、色が変わったりするんです。知ってる曲もそうですが……知らない曲が流れてきても楽しんでいただけたらと思います。だからライブはスキがないです、休む間がない。全部を通してライブになっている感じです。

――PERFECT YEARのツアー。単独ツアーではありませんが、これまでのツアーと違うところはありますか？

昨年のアリーナツアーでは、やりたいこと、できることをするためのTHE RAMPAGE仕様のセットを組んでいただいたのですが、今回はTHE RAMPAGEとして、いいライブを作るにはどうするかという考え方でした。結構難しかったんですが、だからこそ、新しいチャレンジができました。あとは間隔が空いていることですかね。毎日が初日だって気持ちでやっていきたいです。

――2月には朗読劇にも挑戦しました。

自分で発信していくことが大事だと思って朗読劇をやりたいと自分で手を挙げました。本が決まった時に、「これをやりたかった」という作品で、去年THE RAMPAGEのメンバーも出演していた作品だったのですごいうれしかったですね。その時はお客さんとして観ていたので、(GENERATIONSの佐野) 玲於が演じていたキャラクターを自分の人生に重ね合わせていたとか、そんなこともあるよなって。自分がやる想像はしてなかったです。今回は、最後の踊るところをTHE RAMPAGEバージョンで新しく振りを作らせていただきました。前回の舞台が良かったからプレッシャーはあったんですけど、無事成功して良かったなと思います。勉強になったし、またやりたいなと思います。

――それに加えて先日は4月22日にニューシングル「INVISIBLE LOVE」がリリースされることが発表されました……バラードなんだとか。

これは……結構……すごくいいです。なんか、僕が言ってること、フワフワしてますけど (笑) THE RAMPAGEにとっては間違いなく新しい一面を見せられる曲です。リリックの部分で今までのTHE RAMPAGEにはなかったアプローチもあるし、THE RAMPAGEを好きな人ももっと好きになってもらえる楽曲になっていると思います。普段のTHE RAMPAGEのワーっっていう感じじゃないダンスも楽しみにしてほしいです。

new release “INVISIBLE LOVE” 2020.4.22^{Wed} ON SALE!!

4/22(水)にTHE RAMPAGE from EXILE TRIBE ニューシングル「INVISIBLE LOVE」のリリースが決定!!

2020年第2弾シングルは、デビュー以来11作目にして初めてバラード楽曲を表題に据えた意欲作。DVDには表題曲「INVISIBLE LOVE」のMUSIC VIDEOを収録。

■商品情報 2020/4/22(水)発売 「INVISIBLE LOVE」【CD+DVD】RZCD-77143/B ¥1,818(+tax) 【CD】RZCD-77144 ¥1,091(+tax)

■収録内容 ※2形態共通 ・INVISIBLE LOVE ・タイトル未定 ・INVISIBLE LOVE (Instrumental) ・タイトル未定 (Instrumental) ※【CD+DVD】のみ ・INVISIBLE LOVE (Music Video)



山本 彰吾

THE RAMPAGE from EXILE TRIBE

地元 岡山について

OKAYAMA SPECIAL INTERVIEW



倉敷駅を北側に出ると「倉敷駅」と壁に描いている場所があつて、
そこで毎日夜中まで練習していたので、思い出の場所です。



何年たっても、自分の気持ちを変えないでいてくれるのが岡山。

――ここからは地元岡山についてお話を聞かせてください。上京されてから、改めて感じる岡山の良いところはどんなところでしょうか？

岡山ってどこか落ち着いている雰囲気はいつもすごく感じますし、安定して観光客の方もたくさん目に留まるし、岡山の良いところを常に岡山全体で探し続けている印象がありますね。商業施設も年々開発されているし、新しい大きな建物もできたり、改めて岡山の代表的な観光地を深堀りしたいなとも思いますし、ファッションの部分ではデニムがあったりするので、岡山って深堀りしていくとどんどん良いところが出てくる街だなと思うんです。そういった部分を大事にして、カルチャーがしっかりある場所なのかなと思いますね。

――岡山の好きな場所や思い出の場所はありますか？

やっぱりダンサー時代に毎日夜中まで練習していた場所はすごく懐かしいですね。岡山に住んでいる方は多分分かると思うんですけど(笑) JR倉敷駅を北側に出ると「倉敷駅」と壁に描いている場所があつて。そこで毎日練習

していたので、今でも地元に戻った時はふらっとそこに行って懐かしいな～と感じながら過ごしたりしています。今はもう閉園してしまったんですけど「倉敷チボリ公園」というテーマパークも、小学生の頃にミュージカルに出させてもらっていたり、少しの期間ではありましたが働いていたりもしたので、チボリ公園が一番の思い出の場所ですね。今でもチボリ公園内にあった「アンデルセン広場」の「からくり時計」が唯一残っているので、時計台を見て昔のチボリ公園の風景を思い出せるぐらい思い出の場所です。

――岡山県民にとってはすごく懐かしい場所ですね。そんな岡山を離れてみて、変わったなと感じる部分はあたりするのでしょうか？

うーん。18歳の時に上京して、、、新しい建物とかはできていますが、住んでいた時と変わっていない感じはしますね。僕帰省した時にいつも思うのが、いつ帰っても上京した感がなくなるというか。昨日まで住んでいたよ？ぐらいの気持ちになれるんです(笑) 何年たっても、自分の気持ちを変えないでいてくれるのが岡山だなと思うので、良い意味でそういったところは変わっていないなと思いますね。

――逆に変わらずにあってほしいのは？

僕は「美観地区」ですね。美観地区の中に「大原美術館」もあつたりと、美観地区も含めて世界的に見ても有名な場所もあるので、やっぱりそういう場所はずっと残っていてほしいですね。僕も東京で生活していて寂しい時は、スマホで美観地区って調べて見たりしてるんです(笑) なので、岡山の観光地は絶対に変わって欲しくないですね。

――THE RAMPAGEとしても、個人としても、地元岡山も含め、山本さんが地方に向けて届けていきたいことはどんなことでしょうか？

USAさんとTETSUYAさんがナビゲーターを務められている「ふるさと祭り東京」がすごく盛り上がっていて、色々な各エリアの良いところっていうのは絶対にたくさんあると思うんです。そこを地方からも発信してもらいたいですし、僕たちもライブなどで行かせていただいた時にはしっかりとそのエリアの良さを汲み取った上でライブをやりたいなと思います。なので、皆さんも常に自分の地元を大切にしながら生活してほしいなと思いますね。

山本彰吾さんが、地元岡山で
今後挑戦したいことは？

やりたいこと、
たくさんあるんですよ(笑)

岡山にもAMAZING COFFEEを!!

1
去年の夏、岡山で開催された「桃太郎フェス」にAMAZING COFFEEが出店されたんですけど、その時にコラボドリンクをプロデュースさせていただいて。岡山の桃を使ったドリンクを作ったんですけど、岡山にもAMAZING COFFEEがあればもっと盛り上がると思うんですよ。

岡山でDANCE EVENTをプロデュース!!

2
やっぱり僕自身ダンサーとして岡山で定期的に行えるダンスイベントもプロデュースしたいです。1位を決めるバトルでも良いですし、誰でも参加できるダンスイベントやお祭りと一緒にダンスイベントもすごく楽しいので、そういった場所でLDHIに所属させていただいているからこそ出来ることもあると思うので、ダンスで岡山を盛り上げたいという想いはすごく強くあります。

大好きな「美観地区」で〇〇を構想中!!

3
岡山ってすごく良いところがたくさんあるので、僕が好きな「美観地区」でも何かできないかな～と考えています。岡山では、「ハリウッド」という岡山県のPR動画を制作するプロジェクトがあって、僕の仲良くさせていただいている俳優さんもハリウッドのオーディションに合格して去年と今年岡山で撮影されていたりするんですけど、1本のショートムービーを作るだけでもすごく盛り上がりますよね。

岡山のデニムで衣装をプロデュース!!

4
あとは、岡山といえばデニム。僕が今からデニム作りを真剣に勉強したら、お店が出せるかもしれないですし(笑) いつかTHE RAMPAGEの衣装を全部岡山のデニムで作りたいんですよ。上下デニムで、ダメージも全部僕がやって。これは絶対にやりたいです！自分だけのデニムが作れるんですけど、それが意外とあまり知られていないと思うのでそういったことを実現させて岡山のデニム文化も、もっと盛り上げられたらと思います。

岡山が盛り上がって、出身地だからこそ、よりLDHIに近い街に感じていただけるようにできたら良いなと思っています！

――是非、実現させたいですね。貴重なお話をありがとうございました！

from JAPAN MOVE UP 編集部

JAPAN MOVE UP WEST 休刊号は、岡山にゆかりのある方にインタビューをさせていただきたいという編集部の強い想いから、岡山県出身の山本彰吾さん (THE RAMPAGE from EXILE TRIBE) に取材のオファーをさせていただきました。お忙しいスケジュールの合間を縫って、貴重なお話をたくさん聞かせてくださいました。そんな山本彰吾さんのマイブームは爬虫類の脱皮する瞬間をYoutubeで見ること！フトアゴヒゲトカゲという種類のトカゲの脱皮が特にお気に入りなんだとか(笑) すごく熱心に脱皮の説明をしてくださいました！トカゲがモルモットを飼うことを計画されているそうなので、近々SNSやブログなどでお目にかかれる日は遠くないかも？

3.13 貴族降臨 -PRINCE OF LEGEND-

FRIDAY ROADSHOW

いよいよ公開!

完成披露舞台挨拶&ファンミーティング

「PRINCE OF LEGEND」シリーズの最新映画『貴族降臨 -PRINCE OF LEGEND-』が3月13日、いよいよ公開になる。白濱亜嵐率いるホスト(貴族)たちと、片寄涼太率いる王子たちが、それぞれの正義のために、バトルする。公開を控えて、2月13日に、東京・国立代々木競技場第一体育館で行われた完成披露舞台挨拶&ファンミーティングの様子をレポートする。



バレンタインデーを翌日に控えた、2月13日。国立代々木競技場 第一体育館は歓声でビビリと震え、室内は熱気でムンムンしていた。『PRINCE OF LEGEND』の続編となる、映画『貴族降臨 -PRINCE OF LEGEND-』が完成。その完成披露舞台挨拶とファンミーティングが開催された。

2日目となるこの日も会場は満員御礼。白濱亜嵐、片寄涼太、佐野玲於、関口メンディー、川村壱馬、吉野北人、藤原樹、長谷川慎らキャスト20名は、1万1000人のファンたちとコールや、さまざまなトーク、ゲームで楽しんだ。

映画鑑賞後の熱が冷めやらぬイベントはスタート。会場にはステージの両脇からアリーナ中央へと四角くつなげられた花道が設けられていて、司会者に呼びこまれたキャストたちはそこをぐるりと歩き、観客に笑顔で挨拶しながら登場した。

最初に挨拶を求められた白濱は「いやぁ今日はねー」と聞いたことがない声。「(前日の)1発目の試写会で声がカスカスになって……。高橋奎仁は「熱量

が半端ない。気持ちいい」。藤原樹の「一周歩いたんですけど、素敵なプリンセスばかりで……。」というあいさつに客席は腰砕けだ。

イベントでは、映画の世界観を思わせる、さまざまな企画を展開。王子や貴族になったら何をしたいかというファンの質問に、関口は「(白濱演じる)ドリーになりたい」とし、コールが起きるなか毛皮のコートにサングラスで再登場。ステージ中央で白濱がやってみせたようにゆっくりサングラスを外して見せるも、周りから「普段のメンディーだ!」「ただのメンディーだ!」。さらにドリーのセリフをマネて「みなさんのバレンタインデーチョコ、奪いにまいりました」とポーズをとると、今度は「泥棒じゃねえか!」と散々。それでも「超気持ちいい」と満足げな表情だった。

白濱は「貴族とか王子ってすごくお金持ちのイメージがある。僕が王様とか貴族になったら、みんなのために……四国に新幹線を通したいです。四国にだけ新幹線通ってないんですよ」。白濱は愛媛県出身。司会の勝矢は「自分が実家に帰りやすくなるためです」。

イベント終盤には、舞台公演のために出席が叶わなかったキャストがビデオメッセージで出席。町田啓太、鈴木伸之に続いて放映されたのは、白濱演じるシンタロウの兄を演じたDAIGOのビデオ。ドラマではシャンパングラスを手にしていることが多かったが「実は飲めない」という衝撃の告白のあと、スクリーンを飛び出して、スペシャルゲストとしてステージに登場した。白濱との撮影について「本当にね、彼は、分かりやすく言うと、NYKK(24時間かっこいい)。ヘビーな撮影が続いていたんですけど、シンタロウは毎日かっこよかった。中身も外見も本当にかっこいい男。シンタロウありがとう」。最後は「みんなに言いたいことは、ただ一つ。POL! パーフェクトな俺たちにラブしてくれ」と決めた。

この日、片寄は自身が歌う主題歌「Possible」も披露。それに藤原と長谷川がダンスで加わって、スペシャルコラボステージを展開した。

最後はみんなで写真撮影を楽しんで幕を下した。



ファンミーティング特別企画
The Special Event

TEAM 貴族 VS TEAM 王子 ガチンコ! 3本勝負!

First Round

01



“だるまさんが転んだ”ならぬ、
ジュリアンさんが転んだ!

貴族チームと王子チームは花道のど真ん中の“ジュリアンさん”を目指す。「ジュリアンさんが転んだ!」と、2回も言わないうちに、白濱が猛ダッシュしてジュリアンにタッチして勝利。白濱の走りはカモシカのような走りだった!

Second Round

02

フルーツ盛り **モグモグ** バトル!



フルーツ盛りを早く食べる対決。貴族と王子は自ら自分でフルーツを口に運んだりしない。……信頼する仲間が食べさせてくれるのだ。ポイントはエレガントであること。対決は、廣瀬智紀&前田公輝と吉野北人&藤原樹。スタートの声がかかるも、スピード感はまったくなく、エレガント(?)な戦いに。

Third Round

03

たたいて! かぶって! じゃんけんポン!



フェンシングのサーブルをピコピコハンマーに持ち替え、かつ、奪い合って勝負。板垣瑞生対長谷川慎の戦い。このゲームで人生で一度も負けたことがない長谷川と、負けなしだが経験もない板垣の勝負は、まさかの板垣の勝利で幕。

『王子!チョコをもらうならどんなシチュエーションで?』

ファンからの質問で、王子たちは理想のバレンタインデーの告白シーンを演じて見せることに。

まず指名されたのは片寄。片寄が女子役となって理想のシチュエーションや言葉で実演する。「片寄君の好きな人を選んでください」と勝矢に促されて、片寄は「……じゃあ、吉野北人君で」。吉野と向き合うとはにかんだ感じで「はいこれ、バレンタインのチョコ……。勘違いしないでよ!……うそだよ!本当はかわいくてかわいくて仕方がないんだよ……わーっ」と、吉野の頭をくしゃっ。吉野は、ちょっと素直に気持ちを伝えられない女の子を演じて見せた片寄を後ろからぎゅっと抱きしめると、「やばかったです。いいにおいしました。最高です」と、恥ずかしそうにそそくさと席に着いた。

もうひとり川村だったが「逆はダメですか?」と観客に向けて告白することに。「クリスマスとか、バレンタインとか、結構マジで彼女いたことないんだよね……うそじゃねえよ。明日空いてる?良かったらさ、そういう記念日とか、2人っきりで過ごす、俺の最初で最後の人になってくれる?」。壇上では「ナイスバレンタイン!」と絶賛されていた。



貴族降臨 -PRINCE OF LEGEND- 3月13日(金) イオンシネマ岡山などで公開!

王子が大渋滞のキャッチフレーズで、2019年春に公開された映画「PRINCE OF LEGEND」の続編。白濱演じる一介の土木業者からナンバーワンのホスト(貴族)、ドリーが率いる貴族たちと、王子たちのバトルを描く。この世に生きる弱者を守り、すべてのひとが笑って暮らせる高貴な世界を作ろうというドリー、片寄演じる三代目伝説の王子として世界中を巡って王子道を進んでいく朱雀奏。どちらが正義なのか――。

監督:河合勇人 出演:白濱亜嵐、片寄涼太、鈴木伸之、佐野玲於、関口メンディー、川村壱馬、吉野北人、藤原樹、長谷川慎、町田啓太、清原翔、廣瀬智紀、荒政慶彦、飯島寛騎、塩野瑛久、中島健、勝矢、加藤諒、袴田吉彦、山本耕史、DAIGO 他 / 93分 / 東宝配給 / <http://prince-of-legend.jp/>

皆さん、面接の経験はありますか？

進学する時や就職する時、何かの試験の時など、どこかのタイミングで何かしらの面接をした事があるかと思いますが、あの緊張感は何ともいえないモノがあります。

先日、EXPG 高等学院、第一期生の入学に際しての面接があり、学長として全ての入学志願者のダンススキルチェックと面接をさせていただきました。この高校は、昨年12月の「DANCEの道」でも紹介させていただきましたが、EXPG STUDIOと学校法人角川ドワンゴ学園さんが運営するN高等学校がコラボしてできた、新しい形のダンス高校です。ダンスに携わる仕事に夢を持つ若者たちが、ダンスと勉強を両立させるのはなかなか難しい事だと思いますが、それがこのEXPG 高等学院では可能になります。

まずはこの春4月からEXPG STUDIOがある、東京、名古屋、大阪の3カ所でスタートし、僕はそこの学長として面接に参加させていただきましたが、面接をしてみて、自分が15歳くらいの頃に、あんな明確に人に対して自分の夢を伝える事ができたのか？と驚きました。みんなそれぞれに、アーティストやバックダンサー、振付師になりたかったり、起業したいとか、本を出版したいとか、スポーツトレーナーになりたい、ヘアメイクやアパレルなど、ダンスを通じてさまざまな夢が飛び出してきて、本当にうれしくなりましたし、今の時代やこれからの世代のダンサーの夢は、想像を越えた夢が出現するのだと

思いました。

だからこそ、自分の今までの経験だけ押し付けるのでは、この新世代の若いダンサーたちとは話すことすらできないと思いましたし、なにより力強く夢を応援する事もできないとも思いました。逆にたくさん話して、今を教えてもらって自分の経験と照らし合わせる事が大切なのではないかと面接をしながら、これからの学長としてやるべきこと、責任を大きく感じる事ができました。

自分がやりたかった事の夢のステージが、また一段階上がったような気がして緊張もしますが、ワクワクもしています。きっとこのEXPG 高等学院に取り組む事が、何年後かの僕たちにとって、とても重要な事なのではないかと気が入ります。

またカリキュラム内容など、学校が始まったらご紹介させていただきますので、よかったら楽しみにしてください!!

さて話は変わりますが、先日2/4にLAWSON「MACHI cafe」とAMAZING COFFEEとのコラボレーション第三弾が無事に発売スタートする事ができました！今回も記者発表をさせていただいたり、ファンの方とのトークイベントを開催させていただいたり、発売当日は朝から大忙しでしたが、皆さんお近くのローソンさんで飲んでいただけましたでしょうか？一部を除く、全国各地のローソンさんで発売しているので、本当にうれしくて仕方ないです！それも今回はアメコがとて大切にしているメニューのひとつ、チョコ



コモ～モ～をマチカフェバージョンにした「アメーシングチョココモ～モ～ THE SECOND」として全国デビューする事ができ、今回もアメコの花が全国に咲き誇っている事と、飲んでいただいた方々から喜ばれている声を聞くと、頑張ってる味もデザインもWEB動画もポスターも作って良かったなあとしみじみとうれしくなっています。

しかし、これに満足する事なく、これからもLDH PERFECT YEAR 2020で、LDHアーティストによるライブリレーはもちろん

ですが、皆さんが楽しくなるエンタメを多角的にお届けしていきたいと思いますので、ぜひ楽しみにしていただければ幸いです。

最後になりますが、最近、世界中で健康を害するウィルスのニュースがたくさん報道されています。被害に遭われ亡くなられた方へのご冥福を心からお祈り致します。そして、これ以上広げないためにも、みんなで力を合わせてできる限りの事をして、被害拡大を防ぎましょう!! 1日でも早くこのニュースがなくなっていく事を心から祈っております。

1981年2月18日生まれ、神奈川県出身。19歳でダンスを始める。07年J Soul Brothersのメンバーに抜てきされ、09年3月1日、EXILEにパフォーマーとして加入。11年に「EXILE パフォーマンス研究所(EPI QUALITY)」を立ち上げる。12年からは、EXILE THE SECONDとしても活動を開始した。16年自身がプロデュースする「AMAZING COFFEE」1号店が中目黒にオープン。17年1月からは、LDH kitchenの取締役を務め、18年3月に早稲田大学大学院 スポーツ学科研究科の修士課程を卒業。2020年4月に開校予定の「EXPG 高等学院」では、学長に就任する。
TOKYO HEADLINE VOL.727 より

選手のここでしか見る事の出来ない素顔を知って地元Jリーグチームを応援しよう!

素顔の松木選手に11問11答で お答えいただきました!!!

01.子供の頃はどんな子供だった?

——とにかく **やんちゃ** で **悪ガキ** でした(笑)
サッカーは小1の頃にみたワールドカップに影響を受けて始めました!

02.周りからどんな人って言われる?

—— **真面目** だけど、どこか **抜けてるよね** (笑)
って言われます。

03.よく聴くアーティストや曲は?

—— **K-POP** が好きで **BIGBANG** をよく聴いています。
邦楽なら **RADWIMPS** の曲を色々聴きます♪

04.カラオケの十八番は?

—— **BIGBANG** の **♪ガラガラGO!!**
場を盛り上げる時に歌います!!!!

05.最近ハマっている事やものを教えて!

—— **料理** と **アニメ** です!!!
料理は、1人暮らしをきっかけに自炊をしてハマりました。
周りにはすぐ飽きるだろうと言われてましたが続いています!!
最近作って美味しかった料理は”牛肉とゴボウのトマト煮”
ハマっているアニメは **“鬼滅の刃”** です。

06.岡山でのお気に入りのスポットを教えて!

—— **“牛窓神社”**
まず景色がいいです。神奈川県の出身で太平洋を見て育ったので
瀬戸内海の海に島がたくさん浮かんでいる光景は新鮮でした。
牛窓神社に行った時に宮司さんに拜んでもらってから怪我の
調子が良くなってきたのでお気に入りのスポットです♪

07.仲の良いチームメイトは? 仲良しエピソードを教えて!

—— **#30拓真くん** (武田選手) です。
昨シーズンまでは、同世代の5人
(中野誠也選手・松本健太郎選手・久保田和音選手) で
よくご飯に行ったりしていました!
今は、(みんな移籍して) 拓真くんと2人になりました(笑)

08.チームメイトと1日変わるなら誰になって何をしたい?

—— **#14上田選手** になって、上田選手の **目線** と **感覚** で
サッカー をしてみたい。
僕のプレースタイルと全然違うので真逆の景色を見てみたい。

09.松木選手が知っているチームメイトの意外な一面を教えて!

—— **#6喜山選手**
第一印象が近寄り難いイメージだったんですけど、後輩にも
気軽に話しかけてくださったり、とても優しく接してくれる先輩でした!(笑)

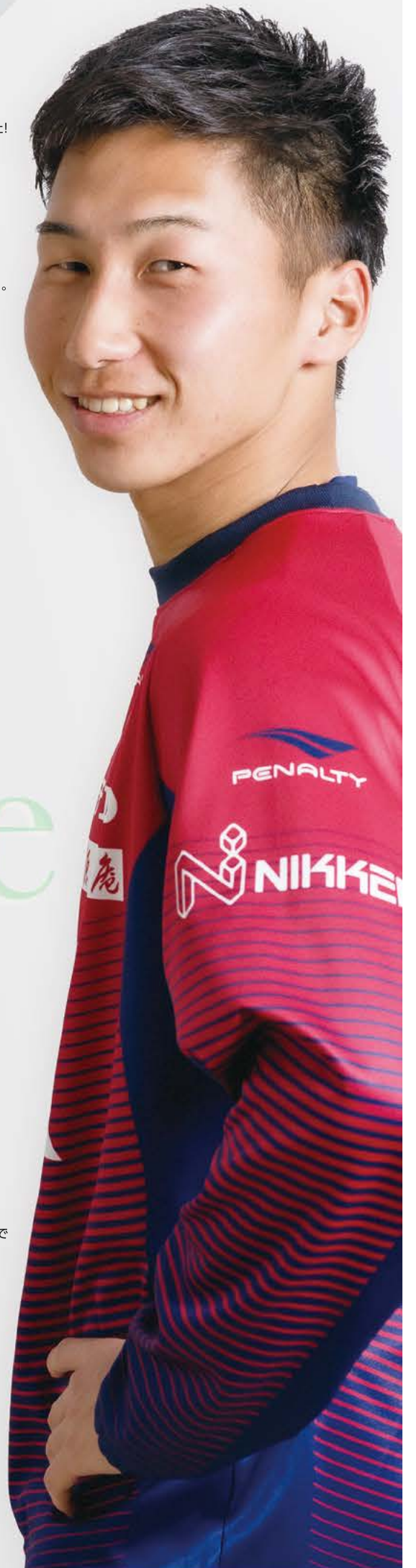
10.オフシーズン何して過ごしてた?

—— 旅行には行かず、**地元** 神奈川に **帰省** して家族の行事に参加したり
お世話 になった人や **会いたい人** に会って過ごしたオフでした!

11.2020年になる年越しの瞬間何してた?

—— 特にカウントダウンをすることもなく...
実家の布団の上でゴロゴロしたら **2020年** になっていました(笑)

54 ×



vol.12 松木 駿之介

1996年10月24日 170cm/68kg 神奈川県出身

爽やかな笑顔が印象的な松木選手。1人暮らしをきっかけに**自炊**に**ハマって**晩御飯など健康面を考えながら作っていると**家庭的な一面**もみせてくれた。ファジアーノ岡山2年目になる松木選手は「昨シーズンは怪我で結果が残せず悔しい思いをしたので、今シーズンは**チームの力**になれるように**頑張ります**」と2020年シーズンの意気込みを聞かせてくれました。今シーズンの松木選手の活躍に期待ですね♪

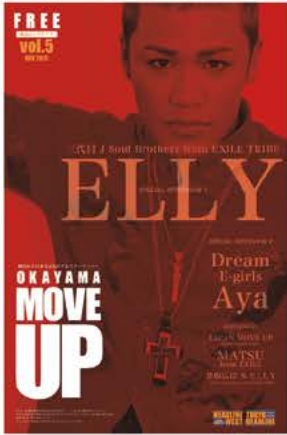
インタビュー選手の素顔が見える!!

JAPAN MOVE UP WEST x ファジアーノ岡山 **JMUW WEB限定**
MOVE UP TV JAPAN MOVE UP WEST

THANK YOU, All readers & MOVE UP FAN!

2013

2013年より“読んで元気に!”をテーマに、創刊準備号発行の後、2ヶ月に1度発行を続けて参りました。
さらに、岡山でもリアルエンターテインメントとして有名アーティストの公開収録などのイベントも行いました。



Special edition VOL.1

三代目 J SOUL BROTHERS from EXILE TRIBE
山下 健二郎 / 今市 隆二



Special edition VOL.2

三代目 J SOUL BROTHERS from EXILE TRIBE
ELLY / 登坂 広臣



Special edition VOL.3

EXILE
松本 利夫



Special edition VOL.4

EXILE / EXILE THE SECOND
EXILE TETSUYA



Special edition VOL.5

EXILE / 三代目 J SOUL BROTHERS from EXILE TRIBE
岩田 剛典

1周年記念号にはEXILE ATSUSHIさんを表紙・巻頭に迎え、初の両面表紙の発信、イベント連携など様々な可能性を模索してきました。2014



Special edition **VOL.6**
DANCE EARTH PARTY
EXILE ŪSA / EXILE TETSUYA / Dream Shizuka



Special edition **VOL.7**
Dream
Dream Aya / Dream Shizuka / Dream Erie

Special edition **VOL.8**
EXILE / 三代目 J SOUL BROTHERS from EXILE TRIBE
岩田 剛典



Special edition **VOL.9**
DANCE EARTH PARTY
EXILE ŪSA / EXILE TETSUYA / Dream Shizuka

Special edition **VOL.10**
『たたら侍』監督 錦織 良成
劇団EXILE 青柳 翔



Special edition **VOL.11**
EXILE / EXILE THE SECOND
橋 ケンチ / 黒木 啓司 / EXILE NESMITH

2015年、2016年はフリーペーパーと連携したイオンモール岡山、イオンシネマ岡山での公開収録、
その他イベント、SNSなど多くのMOVE UPの活動を広げた年となりました。2015



2016



Special edition **VOL.12**
 三代目 J SOUL BROTHERS from EXILE TRIBE
 CrazyBoy / ELLY

Special edition **VOL.13**
 三代目 J SOUL BROTHERS from EXILE TRIBE
 CrazyBoy / ELLY



Special edition **VOL.14**
 E-girls
 鷺尾 伶菜 / 楓 / 須田 アンナ / 山口 乃々華 / 武部 柚那

Special edition **VOL.15**
 三代目 J SOUL BROTHERS from EXILE TRIBE
 今市 隆二



2017年は、イオンモール岡山での公開収録と連携したパネル展やCrazyBoyさんを迎えた公開収録&ミニライブ、そして“OKAYAMA MOVE UP”から“JAPAN MOVE UP WEST”への前進などMOVE UPが大きく動き出した年となりました。

2017



JAPAN MOVE UP WEST 実行委員会 加盟企業一覧 (2020年3月11日現在)



株式会社 株式会社DMM.com

special partner コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 イオンモール岡山

JAPAN MOVE UP WEST 賛同企業加盟・その他お問い合わせは右記まで JAPAN MOVE UP WEST 実行委員会運営事務局(株式会社HEADLINE WEST/TEL:086-250-8089)

JAPAN MOVE UP WEST

●発行人/源 真典(株式会社HEADLINE WEST) 一木 広治(株式会社ヘッドライン)
 ●発行所/株式会社HEADLINE WEST 〒700-0925 岡山県岡山市北区大元上町12-14 Leeビルディング1F TEL:086-250-8089

隔月刊【ジャンムーブアップウエスト】2020年3月11日発行 vol.42 March

※本誌の売買・交換(金品を代価とする譲渡)一切禁止。本誌または掲載内容のすべての著作権は発行元に準ずる。



JAPAN MOVE UP WESTでは“岡山で活躍している方”にもよりフィーチャーし、ストリートイベントを行い、紙面やSNSでも発信をさせていただきました。

また初の公開収録時のゲスト、三代目 J SOUL BROTHERS from EXILE TRIBEの今市隆二さん、1周年の表紙を飾ったEXILE ATSUSHIさんを公開収録にお迎えし、大変多くの方々にその様子を感じていただき、皆様 MOVE UPの集大成を感じていただけました年となりました。

2018



2019



2013年3月より発行を続けてきたフリーペーパー『JAPAN MOVE UP WEST』、その前身となる『OKAYAMA MOVE UP』、そして『JAPAN MOVE UP』。
 “岡山から日本を元気に!”をテーマに掲げ、地方都市である岡山でも“こんなにも盛り上がっているんだぞ”と岡山の方々から全国に元気を発信。多くの読者様、イベント参加者の方々、各SNSから発信を見ていただいた方々、想いに賛同していただいた企業様。本当に多くの皆様を支えられ多くの方々に元気を発信できたのではないかと感じます。

本号にてフリーペーパー『JAPAN MOVE UP WEST』は休刊となりますが、「岡山をエンターテインメントの力で元気に」するコンテンツや「夢を追う子どもたちや若者を応援する」コンテンツをまた違った形でお届けできるように新たな活動を計画中です。突然のご報告となってしまう、驚かれた方も多いと思いますが、出来る限り早く新たなコンテンツの発信ができる様に努めて参りますので、どうか楽しみにお待ちいただけたら幸いです。

今後とも温かい応援のほどよろしくお願い申し上げます。 JAPAN MOVE UP WEST 編集部一同

THANK YOU,
All readers
& MOVE UP FAN!

54

JAPAN MOVE UP WEST